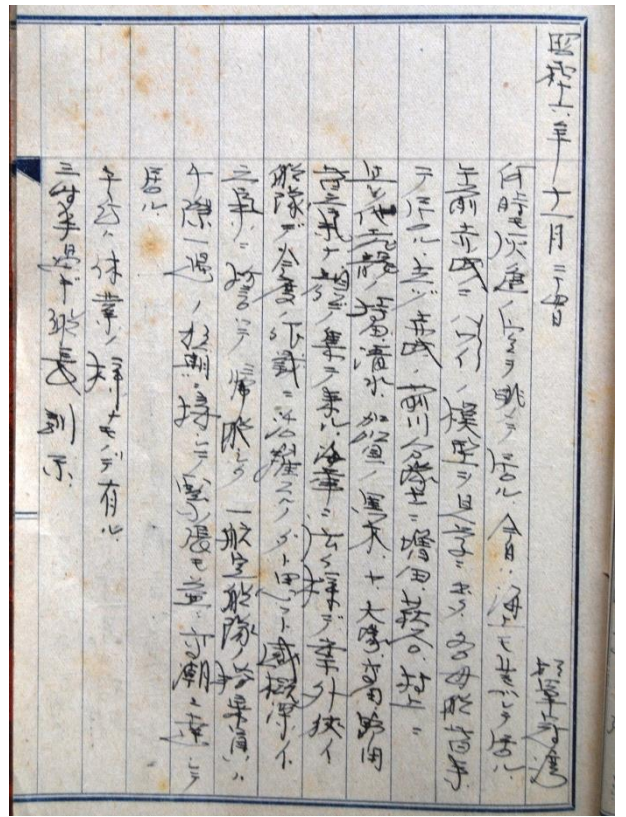




昭和十六年十一月二十四日

於單冠灣

何時モ灰色ノ空ヲ眺メテ居ル。今日ハ海上モ荒レテ居ル。
午前、赤城ニハワイノ模型ヲ見学ニ出タ。各母艦皆来
テ居ル。先ズ赤城ノ前川分隊士ニ増田、萩谷、村上ニ
其ノ他飛龍ノ持田、清水、加賀ノ黒木、ヤ、大塚、高田、野田、
皆元氣ナ顔デ集テ来ル。海軍ニ(ハ?) 広イ様デ案外狭イ。
艦隊デ今度作戦ニ活躍スルノダト思フト感慨深イ。
元氣ニ誓ッテ帰艦シタ。一航空艦隊ノ搭乗員ハ
千際(載) 一遇ノ好期ニ接シテ緊張モ益々高潮ニ達シテ
居ル。
午后ハ休業ノ様ナモノデ有ル。
三時半過ギ艦長訓示。



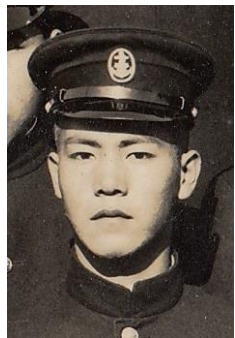
前川賢次飛曹長(乙4期) 偵察
飛練 10 期鈴鹿(偵察) 時代の教員
真珠湾攻撃時、赤城艦爆隊偵察員
昭和 17 年 10 月 26 日 翔鶴 南太平洋海戦にて戦死



益田増雄3飛曹(乙9期) 偵察
真珠湾攻撃時、赤城。出撃ナシ
昭和 19 年 3 月 30 日 523 空 パラオ南東海域にて戦死



萩谷幾久男3飛曹(乙9期) 偵察
真珠湾攻撃時、赤城艦攻隊(雷撃) 電信員。
昭和 19 年 7 月 24 日 553 空 占守島 移動中陸軍機による誤射にて撃墜され戦死



村上守司3飛曹（乙9期）偵察
真珠湾攻撃時、赤城艦攻隊（水平爆撃）電信員。
昭和17年10月26日 翔鶴 南太平洋海戦にて戦死



持田竹雄3飛曹（乙8期）偵察
予科練途中から乙9期に合流
真珠湾攻撃時、飛龍。出撃ナシ
昭和19年2月18日 551空 テニアンにて戦死



清水巧3飛曹（乙9期）偵察
真珠湾攻撃時、飛龍。出撃ナシ。
昭和17年6月5日 飛龍 ミッドウェイ海戦にて戦死



黒木勇三郎3飛曹（乙9期）偵察
真珠湾攻撃時、加賀艦攻隊（水平爆撃）電信員
昭和17年6月5日 加賀 ミッドウェイ海戦にて艦とともに沈没戦死



高田忠勝3飛曹（乙9期）偵察
真珠湾攻撃時、翔鶴艦攻隊（水平爆撃）電信員
昭和17年5月8日 翔鶴 珊瑚海海戦にて戦死



野田実3飛曹（乙9期）偵察
真珠湾攻撃時、翔鶴。出撃ナシ
昭和17年5月7日 祥鳳 珊瑚海海戦にて艦への爆撃にて戦死

二十六日出港シテ機動部隊ハハワイノ攻撃ニ向フ。
日本男子トシテ軍人トシテ全ク千際(載)一週ノ好期、
一億同胞ノ期待スル様ニ自己ノ職責ヲ完全ニ遂行
シテモライタイ。艦長又本艦ノ方針デ有ル。乗員ノ必ズ此ノ
期待ニ酬ハザルフコトハ信ジテ疑ハナイノデ有ル。
全ク此ノ機動部隊ノ攻撃ニ依リテ作戦ハ開始セラレルノデ
有ル。湊川神社ノ御守リニ七生報国ト書シテ乗員
ニ(賜?)ル。熱ト意氣艦長ノ音頭デ
身を君國ニ捧げつつ 吾が務をおし守り
たふ(斃)れて後にやまんこそ 日本男子の心なれ
米國艦隊撃滅近シ。

昭和十六年十一月二十五日
午前九時ヨリ特攻、攻撃隊等各隊ニ別レテ、作戦
行動ニ対スル詳細ナル説明ガ有ル。戦フ上ニ萬全ノ準
備必要ナリ。実ニ綿密ナル研究ガ進メラレテ来タノダ。
午后ハ投下器ノ整備。
四時頃ヨリ艦長ノ
機動部隊司令官南雲中将ヨリノ搭乗員ヘノ訓示
ヲ讀ム。実ニ航空部隊ノ活躍ニ期待スル所大
ナルカ、責務ハ重シ身ハ輕シデ有ル。
終ッテ戦斗ニ臨ミ心ヲ落チ付ケヨト艦長ノ
處生(世)訓ヨリ
明日愈々一路ハワイニ向ケ征戦ノ途ニ就クハ……

昭和十六年十一月二十五日

於單冠灣

昭和十六年十一月二十六日
 波羅の海軍、土港進出
 公戦の首途、一路ハワイニ機動部隊ハ進撃ス
 文部省、土港ハ時中軍艦ヲ土港ニシテ
 軍艦、太平洋上ヲ進ム
 土港ニ軍艦、用意、機銃モ全ク完備
 状態、有ル。電信員ノ腕モ鳴ル
 テ、機銃ノ入替作業有ル
 午後、日艦、土港ニ大砲ヲ叩キ、
 米太平洋艦隊ヲ撃滅シ、太平洋上ニ勢力ヲ
 伸ス。必勝ノ日本

昭和十六年十一月二十六日

單冠灣出港

総員起床、直チニ出港準備。

征戦ヘノ首途、一路ハワイニ機動部隊ハ進撃ス。

故國ヨサラバ。午前八時半、單冠灣ヲ出港シタ。

東ニ東ニ太平洋上ヲ進ム。

午前ハ弾倉ノ用意。機銃モ全ク完備ノ

状態デ有ル。電信員ノ腕モ鳴ル。

午後ハ爆弾ノ入替作業デ有ル。

約半月后ニ於テハ日米戦ハ火花ヲキルノダ。

米太平洋艦隊ヲ撃滅シテ太平洋上ノ勢力ヲ

伸スノダ。 征途、必勝ノ日本。

昭和十六年十一月二十七日
 波羅の海軍、土港進出
 公戦の首途、一路ハワイニ機動部隊ハ進撃ス
 文部省、土港ハ時中軍艦ヲ土港ニシテ
 軍艦、太平洋上ヲ進ム
 土港ニ軍艦、用意、機銃モ全ク完備
 状態、有ル。電信員ノ腕モ鳴ル
 テ、機銃ノ入替作業有ル
 午後、日艦、土港ニ大砲ヲ叩キ、
 米太平洋艦隊ヲ撃滅シ、太平洋上ニ勢力ヲ
 伸ス。必勝ノ日本

昭和十六年十一月二十七日

進撃

波羅グ北太平洋ヲ進撃スル。

総員起床、体操終ルト直グ対空戦斗。実ニ

訓練モ實戦的二成ル。

午前ハ作戦ノ講話。 味方識別、又潜水艦ノ

配備。実ニ潜水艦ノ行動コソ決死的ノモノダ。

午後ハ部署教練。

午後、体操中ニ中攻ガ一機、東ニ飛ンデ行ツタ。

千歳空附近ヨリ五〇〇哩ノ哨戒ニ出ルト云フ様ナ

事デ有ル。

昭和十六年十一月二十八日
四時半、敵艦発見。未だ薄暗い海上に
走ル。遙か地平線ノ彼方右舷ニ一航戦ノ姿が見エル。
体勢モ終ルト戦艦ノ姿モ眺メラレタ。進ム東ニ
予所通信等因テ講話。作戦ノ話モ一
一ニテ行ハラル。又事ニ付カテ艦長等々
念デテラカノ司令艦長ノ訓示ノ降下
明ガナニテ得シタラ。此ノ戦ハセテモ
燃料ノ補給モシテ居ル。
午後、部署教練。分隊長ノ魚雷発射ニ関シテ。
後十日間戦斗ダ。ハワイノ攻撃ニ行カレナイノガ残念
ダ。然シ飛行機ガナイノダ……。

昭和十六年十一月二十八日

進撃

四時半総員起床。未だ薄暗い海上ヲ

走ル。遙か地平線ノ彼方右舷ニ一航戦ノ姿が見エル。

体操モ終ルト戦艦等ノ姿モ眺メラレタ。進ム東ニ

午前、通信、等ニ関シテ講話。作戦ノ話モ一歩

一歩近クナル。攻撃ニ行カナイ俺ヤ佐々木等ハ実ニ残

念デナラナイ。司令艦(官)、艦長ノ訓示ノ通り千際(載)一週ノ好

期ガナンデ得ラレタロウ。然シ次ノ作戦ニ行カセテモラオウ……。

燃料ノ補給モシテ居ル。

午後、部署教練。分隊長ノ魚雷発射ニ関シテ。

後十日間戦斗ダ。ハワイノ攻撃ニ行カレナイノガ残念

ダ。然シ飛行機ガナイノダ……。

分隊長……雷撃隊の長井彊分隊長(兵64期)か？

昭和十六年十一月二十九日 進撃
午前四時、総員起床。實ニ早クナッタ。
午前、空戦ニ関スル講話。 午前九時半ニ成ル
トモウ晝食ダ。普通ノ課業始メ頃デ有ルノニ。
午前十一時一五分、総員集合、艦長訓示……、二十六日、日米
會談ニ依リ外交ハ益々帝國ニ不利トナル様ニ導クノデ
有ル。佛印、支那ヨリ撤兵、汪政權ヲ認メズトカ……、然シ何
トデモ云ヘ。八日ニ成レバ、太平洋艦隊ヲ撃滅スルカラストデ
モ言ッテヤリタイ様ダ。盡シキレヌ自己ノ職責ニ邁進
シナケレバナライ。 英國モ又、極東ニ艦隊ヲ移動シテ
居ル事モ事實デ、又英國モ攻撃セナケレバナライ。
全ク帝國ハ極東ニ於ケル英米ノ勢力ヲ制圧シナケレバナライ。

汪兆銘

昭和十六年十一月二十九日 進撃

午前四時総員起床。實ニ早クナッタ。

午前、空戦ニ関スル講話。 午前九時半ニ成ル

トモウ晝食ダ。普通ノ課業始メ頃デ有ルノニ。

午前十一時一五分、総員集合、艦長訓示……、二十六日、日米

會談ニ依リ外交ハ益々帝國ニ不利トナル様ニ導クノデ

有ル。佛印、支那ヨリ撤兵、汪政權ヲ認メズトカ……、然シ何

トデモ云ヘ。八日ニ成レバ、太平洋艦隊ヲ撃滅スルカラストデ

モ言ッテヤリタイ様ダ。盡シキレヌ自己ノ職責ニ邁進

シナケレバナライ。 英國モ又、極東ニ艦隊ヲ移動シテ

居ル事モ事實デ、又英國モ攻撃セナケレバナライ。

全ク帝國ハ極東ニ於ケル英米ノ勢力ヲ制圧シナケレバナライ。

午後三時夕食

飛行科ノ機銃員ニサセラレタ。攻撃ニ行カナイ者ノ搭乗員
ト兵器員ダ。午后、試射ヲシタ。
此レモ与ヘラレタ配置デヤロウ。班長モ攻撃ニ行カナ
イ者ハ氣分ガ悪い事ガ解ル。然シ与ヘラレタ配置ヲ
満足シテヤルノガ我々搭乗員ダ。搭乗員デ飛行
機ニテ戦斗ニ臨メナイ様ナ事ハ本當ニ残念デ
ハナラナイ。

案外静カナ航海ヲ続ケル。空ニハ雨デモ降り
ソウナ雲ガ出テ居タ。飛龍モ続ク……。

午後三時夕食。

飛行科ノ機銃員ニサセラレタ。攻撃ニ行カナイ者ノ搭乗員
ト兵器員ダ。午后、試射ヲシタ。

此レモ与ヘラレタ配置デヤロウ。班長モ攻撃ニ行カナ

イ者ハ氣分ガ悪い事ガ解ル。然シ与ヘラレタ配置ヲ

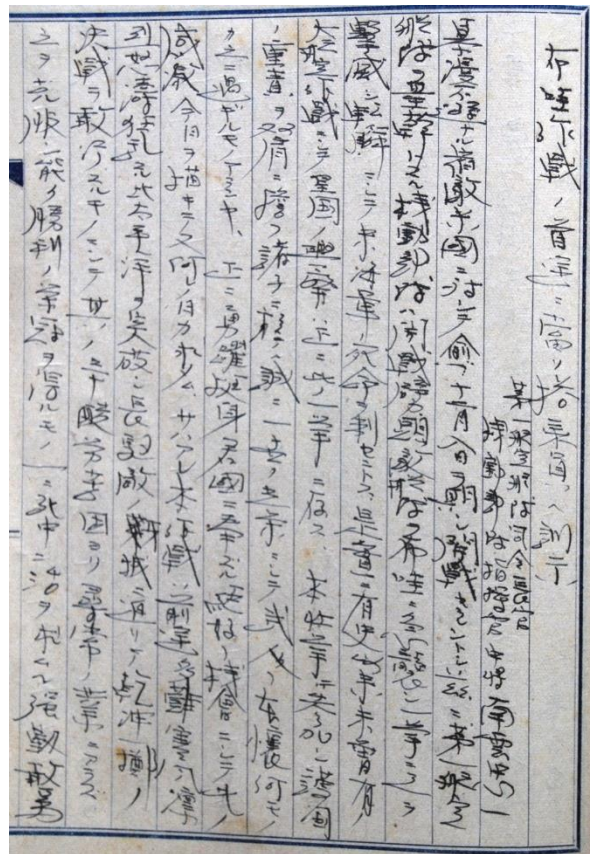
満足シテヤルノガ我々搭乗員ダ。搭乗員デ飛行

機ニテ戦斗ニ臨メナイ様ナ事ハ本當ニ残念デ

ハナラナイ。

案外静カナ航海ヲ続ケル。空ニハ雨デモ降り

ソウナ雲ガ出テ居タ。飛龍モ続ク……。



布哇作戦ノ首途ニ當リ搭乗員ヘ訓示

第一航空艦隊司令長官

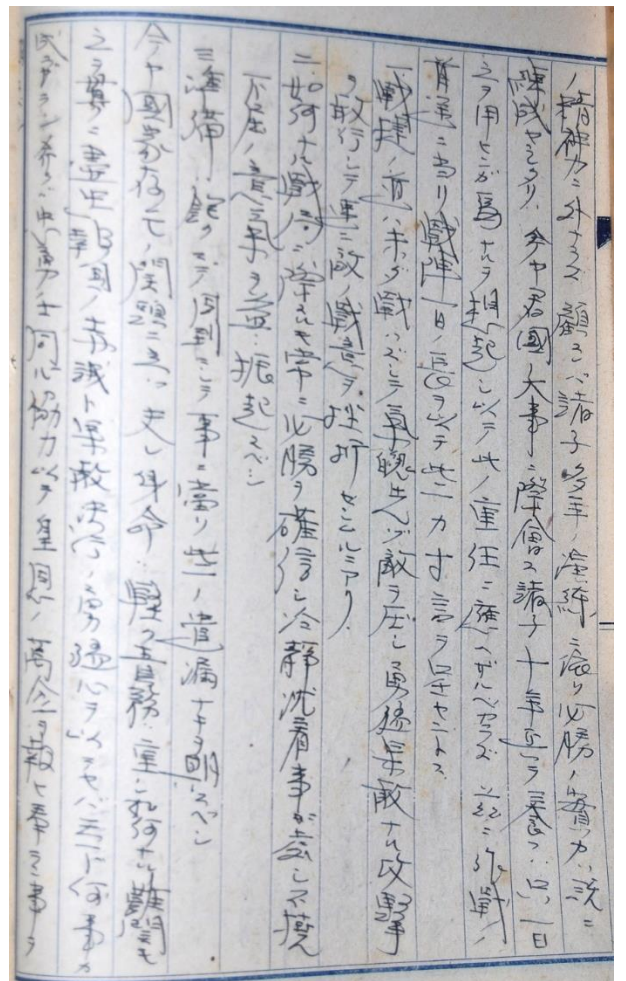
機動部隊指揮官 中将 南雲忠一

暴慢不遜ナル宿敵米國ニ対シテ愈々十二月八日ヲ期シ開戦セラレントシ、茲ニ第一航空

艦隊ヲ基幹トスル機動部隊ハ開戦劈頭、敵艦隊ヲ布哇ニ急襲シ一挙ニ之ヲ撃滅シ転瞬ニシテ米海軍ノ死命ヲ制セントス。是實ニ有史以來未曾有ノ大航空作戦ニシテ皇國ノ興廃ハ正ニ此ノ一挙ニ存ス。本壮挙ニ参加シ護國ノ重責ヲ双肩ニ擔フ諸子ニ於テハ誠ニ一世ヲ光榮ニシテ武人ノ本懷、何モノカ之ニ過ギルモノアラシヤ。正ニ勇躍挺身、君國ニ奉ズル絶好ノ機會ニシテ此

感激、今日ヲ描キテ又、何レノ日力求メム。サハアレ本作戦ハ前途多難、寒風凜

烈、怒涛狂乱スル北太平洋ヲ突破シ、長驅敵ノ牙城ニ迫リテ乾坤一擲ノ決戦ヲ敢行スルモノニシテ其ノ辛酸勞苦、固ヨリ尋常ノ業ニアラズ、之ヲ克服シ、能ク勝利ノ榮冠ヲ得ルモノ、一二死中ニ活ヲ求ムル強靱敢闘



ノ精神カニ外ナラズ、顧スレバ諸子多年ノ演練ニ依リ必勝ノ實力ハ既ニ練成セラレタリ。今ヤ君國ノ大事ニ際會ス。諸子十年兵ヲ養フハ只一日之ヲ用ヒンガ為ナルヲ想起シ、以テ此ノ重任ニ應ヘザルベカラズ。茲ニ作戦ノ首途ニ當リ戰陣一日ノ長ヲ以テ些カ寸言ヲ呈セントス。

一、戰捷ノ道ハ未ダ戰ハズシテ氣魄先ヅ敵ヲ圧シ、勇猛果敢ナル攻撃ヲ敢行シテ速ニ敵ノ戰意ヲ挫折セシムルニアリ。

二、如何ナル戰局ニ際スルモ常ニ必勝ヲ確信シ、冷静沈着事ニ處シ、不撓不屈ノ意氣ヲ益々振起スベシ。

三、準備ハ飽クマデ周到ニシテ事ニ當リ、些ノ遺(遺)漏ナキヲ期スベシ。今ヤ國家存亡ノ関頭ニ立ツ、夫レ身命ハ輕ク責務ハ重シ。如何ナル難関モ之ヲ貫クニ盡忠報國ノ赤誠ト果敢決行ノ勇猛心ヲ以テセバ天下何事カ成ラザラン。希クバ忠勇ノ士、同心協力以テ皇恩ノ萬分ノ一ヲ報ヒ奉ラン事ヲ。

昭和十六年十一月三十日
昨夜ヨリ霧中航行デ走ル。飛龍モ灯ヲ出シテ居ル。三時四十五分、総員起床。未ダ内地ノ真夜中ノ様ナノニ随分東ニ来タモノダ。午前日課手入后、一時間程米国ノ艦型識別ニ関シテ講話、終ッテ休業デ有ル。陸上ニ居ルト今日ハ日曜日ダ……。九時半晝食、蓄音機ニ楽シム。搭乗員モ全ク布哇ニ進撃中トハ思ハレン。然シ何時モ艦内ハ平時ノ訓練ト同様ダガ……。別科ハ軍歌ダ。未ダ一時半。三時頃食事デ有ル。毎日黒潮ヲ、又曇リ勝ナ斯ノ空ヲ眺メテ続く一路布哇ニ進撃スル機(動)欠(?)部隊。士氣ハ益々旺盛ダ。征途ヘノ労苦ハ些カノモノダ。然シ陸上部隊ニ比較スルト苦モ一寸多イ様デ有ル。苦ニ堪ヘルノガ戦斗ノ常ダ。

昭和十六年十一月三十日

進撃

昨夜ヨリ霧中航行デ走ル。飛龍モ灯ヲ出シテ居ル。三時四十五分、総員起床。未ダ内地ノ真夜中ノ様ナノニ随分東ニ来タモノダ。

午前日課手入后、一時間程米国ノ艦型識別ニ関シテ

講話、終ッテ休業デ有ル。陸上ニ居ルト今日ハ日曜日ダ……。

九時半晝食、蓄音機ニ楽シム。搭乗員モ全ク布哇ニ進

撃中トハ思ハレン。然シ何時モ艦内ハ平時ノ訓練ト同様ダガ……。

別科ハ軍歌ダ。未ダ一時半。三時頃食事デ有ル。

毎日黒潮ヲ、又曇リ勝ナ斯ノ空ヲ眺メテ続く一路布哇ニ進撃スル

機(動)欠(?)部隊。士氣ハ益々旺盛ダ。征途ヘノ労苦ハ些カノモノ

ダ。然シ

陸上部隊ニ比較スルト苦モ一寸多イ様デ有ル。苦ニ堪ヘルノガ戦斗ノ

常ダ。

昭和十六年十二月一日
師走ノ月モ訪レタ。艦隊ニ来テ早一ヶ月経過シタノダ。一ヶ月ノ今日、ハワイ攻撃ノ征途ニトハ思ハナカッタ。数回ノ曳航補給ニ艦ハ進ム。午前三時十五分総員起床デ有ル。今朝ハ随分各艦ノ距離ヲ縮メテ居ル。六隻ノ母艦ハ皆視界内ニ有ル。午前ハワイ方面ノ氣象、攻撃ノ航法ニ関シテ講話。八時半晝食ダ。内地ノ朝食ノ様ナモノダ。午後、部署教練。総員集合アリ。副長……、午后五時、一八〇度線ニ至ル太平洋上ニ於ケル日本米國ノ勢力権(圈)ノ区劃カ、愈々警戒区域ニ侵入シタワケダ。益々警戒見張ヲ嚴重ニセヨ。艦内満載ノ重油缶モ愈々タンクニ入レ初(始)メタ……。

昭和十六年十二月一日

進撃

師走ノ月モ訪レタ。艦隊ニ来テ早一ヶ月経過シタノダ。

一ヶ月ノ今日、ハワイ攻撃ノ征途ニトハ思ハナカッタ。数回ノ曳航補

給ニ艦ハ進ム。午前三時十五分総員起床デ有ル。今朝ハ随分

各艦ノ距離ヲ縮メテ居ル。六隻ノ母艦ハ皆視界内ニ有ル。

午前ハワイ方面ノ氣象、攻撃ノ航法ニ関シテ講話。

八時半晝食ダ。内地ノ朝食ノ様ナモノダ。

午後、部署教練。総員集合アリ。

副長……、午后五時、一八〇度線ニ至ル太平洋上ニ於ケル日本

米國ノ勢力権(圈)ノ区劃カ、愈々警戒区域ニ侵入シタワケダ。

益々警戒見張ヲ嚴重ニセヨ。

艦内満載ノ重油缶モ愈々タンクニ入レ初(始)メタ……。



進撃関係図

昭和十六年十二月二日

進撃

百八十度線ヲ越エテ艦ハ西半球上ヲ進ム。

「ダッチハーバー」「ミッドウェイ」ニモ最短距離デ米國ノ警戒区域ダ。今日明日ガ非常ニ警戒ヲ要スル時ダ。

午前三時、総員起床。午前ハワイ方面ニ於ケル

防禦施設ニ関シテ講話。終ッテ攻撃準備。

午後ハ又攻撃準備ダ。然シ既ニ準備完了

ノ状態デ有ル。別科ハ体技ダ。飛行甲板デ一寸

ブラツイタラ終リ。精神的ニハ攻撃デ七生報国

ニ張り切ッテ居ル。然シ作業ハ呑氣ダ。

夕食后ハ配給ノ「ビール」ニ分隊ハ賑フ。攻撃前ニ

益々士氣ヲ上ゲル……。

